

第4回 小郡市老人福祉計画作成協議会 議事録

○日時

平成29年12月25日（月）19:00～20:10

○場所

小郡市役所 西別館3階 会議室

○協議事項

- 第7期小郡市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案）について

○協議内容

会長のあいさつの後、会長の議事進行で、事務局より、配布資料を使用しながら、前回協議会からの変更点を中心に、第7期小郡市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案について説明を行った。

本計画の基本理念について、事務局からの提案があり、承認された。

地域包括支援センターの設置か所数について、地域包括支援センター運営協議会において審議決定され、その内容を本計画に盛り込む旨、事務局より説明があり、承認された。

計画内容についての質疑応答は特になかったが、関連する事項として、以下のような要望事項や質疑応答があった。

（会長）

- ・これから老人クラブの活動がより重要になってきます。老人クラブの生の声にしっかりと耳を傾けてもらいたいと思います。

（委員）

- ・小規模多機能型居宅介護やグループホームの新規設置を計画されている件について、現場からの切実な声として話をしたいのですが、設置したくても職員が集まらないという人材不足が大きな問題となっています。必要な施設整備をやったとしても、なかなか職員が集まらないというのが現状です。このような状況について、市としては何か対策を考えていることはありますか。

（事務局）

- ・市として介護人材の確保に対する具体的な対策を講じることはできていません。介護人材の確保については全国的な問題であり、今後は市としても国の政策や方針などを注視しながら、考えていきたいと思っています。

（委員）

- ・介護人材確保のための小郡市としての施策のプランをまとめてもらいたいと思います。例えばこれからは、人材の確保のため、家賃の安いアパートといった住宅の補助のようなことも考えていかないといけないと思います。福岡市などの都市部では、大手企業が介護分野をビジネスとして捉え、大々的に事業を展開されています。人材確保を含め、これから

はそのようなところとの競争になります。地方の介護分野は都市部の大企業等ではなく、地域に目の届く地元の事業所が担っていくことが望ましいと思います。ただその一方で、鹿児島のような地方になると、たとえば夜勤が嫌だ、といったことが理由で人材確保がかなり難しくなっているとも聞きます。そういったことが小郡でもあれば小規模多機能居宅介護やグループホームを増やすことは難しくなると思います。

(会長)

- ・委員が指摘するような課題について、これからは現場の方などを交えて皆で知恵が出し合えるような協議の場を設けていくことが大事になるのではないかと思います。

最後に、パブリックコメントに向けた計画素案全体について承認され、事務局から、今後のスケジュールについて説明があり、副会長より閉会のあいさつの後、本協議会は終了した。

以上